

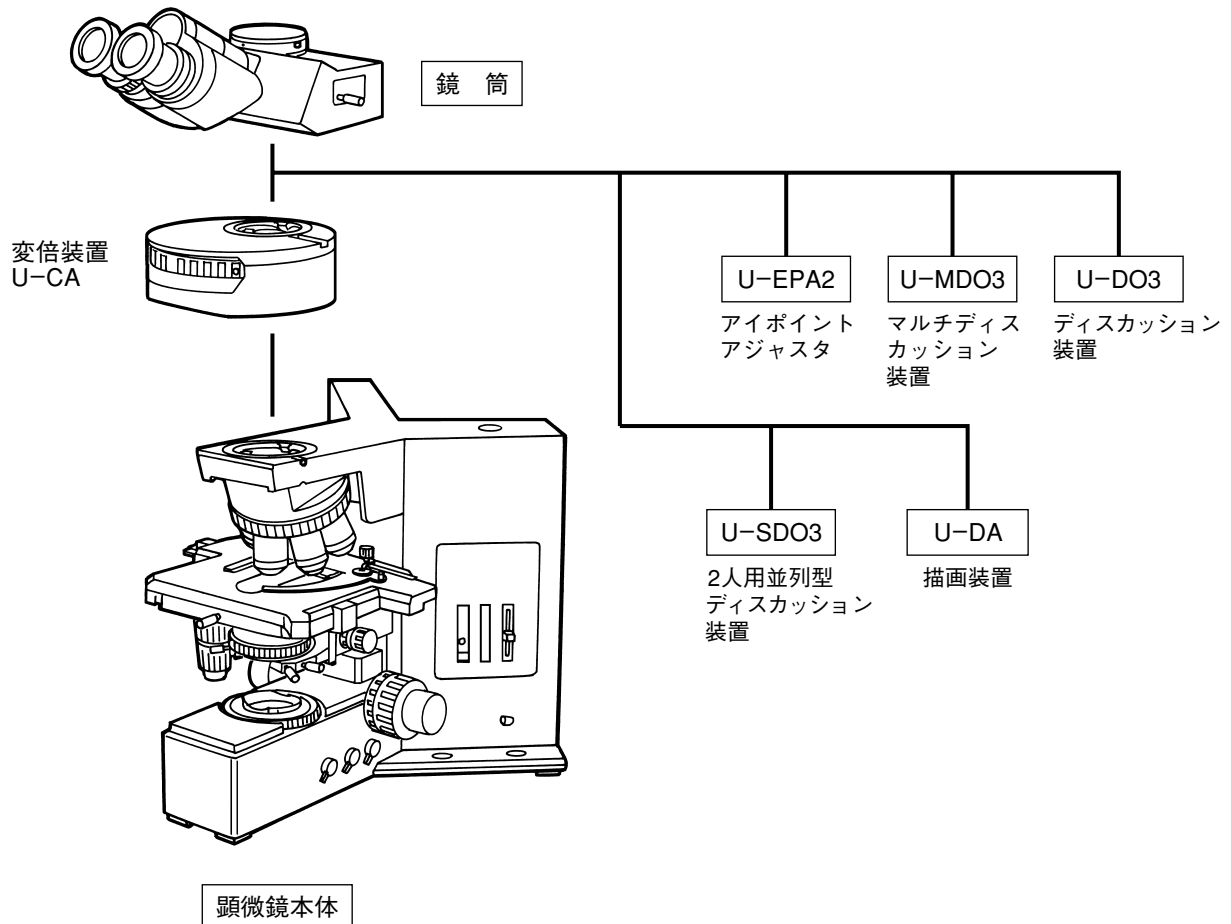
変倍装置
U-CA

取扱説明書

この装置はUIS光学系を採用しておりますので、一緒に使用される顕微鏡本体、接眼レンズ、対物レンズ、コンデンサなどは、UIS光学系シリーズのものをご使用ください。組み合わせが合っていないと、性能が発揮できません。

1 特徴

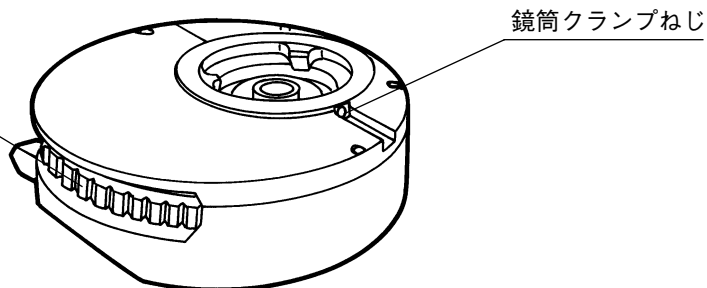
- 1) 1×、1.25×、1.6×、2×の変倍レンズを内蔵しており、ターレットで容易に倍率変換できます。
- 2) 写真撮影時にフレーミングを行うことを目的とする変倍装置です。
- 3) BXシリーズ(BX40/50)またはBX2シリーズ(BX41/51/61他)顕微鏡本体へはU-CAの他にもう一つの間筒鏡筒を重ねて、二段重ね状態で使用できます。
ただし上に重ねる場合と、下に置く場合で使用できる中間鏡筒に制限があります。
①下にはユニバーサル落射投光管U-URA(BX)/BX-URA2(BX2)、明暗視野用落射投光管U-RLA(BX)/BX-RLA2(BX2)、偏光用中間鏡筒U-CPA、AN360P用中間鏡筒U-OPA、描画装置U-DAを置くことができます。
②上に重ねることができる中間鏡筒は下図を参考にされていづれかをご使用ください。



2 外観及び名称

変倍ターレット

1×、1.25×、1.6×、2×
の倍率に切換えられます。



3 組立て方

(図 1)

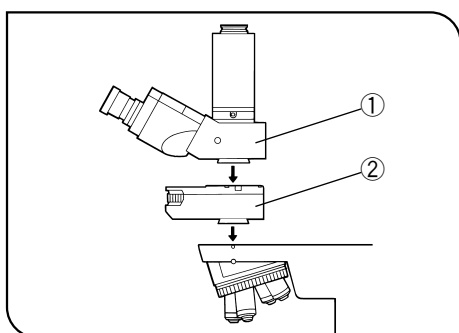


図 1

- 1) まず鏡筒①を顕微鏡付属の六角ドライバで取外します。
- 2) 鏡筒を外した所へ変倍装置(U-CA)②を取付けます。
- 3) 変倍装置の上へ、先に外した鏡筒を取付けます。

4 使い方

(図 2)

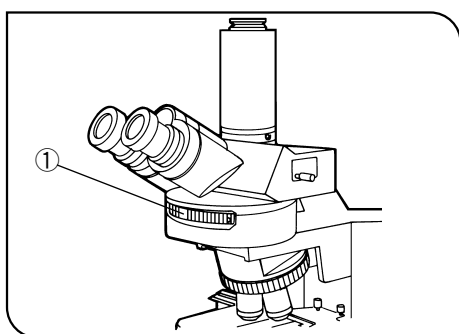


図 2

観察しながら、変倍ターレット①を回して必要とされる倍率(視野サイズ)を選択します。

株式会社エビデント